

大学から広がる、新しい学び。
地域へ広がる、静大の15講座。



静岡大学 公開講座 2011

CONTENTS

受講にあたって	2
公開講座開設一覧	3
講座案内	
教養を高める	4
科学・自然に親しむ	8
身体を動かす	13
専門性を高める	16
その他の大学開放事業	19
各会場へのアクセス	25
地域に開放している学内施設	31

公開講座

静岡大学では、本学の専門的、総合的な教育・研究機能を開放することによって、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978年（昭和53）より実施しています。静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、静岡県内の各地で実施しています。

静岡大学では、多種多様な公開講座を積極的に開設し、今まで以上に「社会に開かれた総合大学」をめざし、努力していきたいと考えています。

公開講座の受講にあたって

1 受講対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

2 実施会場

公開講座の会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、会場への交通案内については、25～30ページにまとめて掲載しています。

3 受講手続きについて

各講座へのお申し込みの後、受講料納入の方法や実施会場など、詳細について連絡を差し上げます。なお、それぞれの講座は先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「主催・問い合わせ」欄に記載されている連絡先にお問い合わせください。

2011年度公開講座一覧

種別	No	講座名	日程 [回数]	ページ
教養を高める	①	終末期医療の「いま」と「これから」～ヒューマンケアの視点から～	5月～6月 [全6回]	4
	②	英語で自分の「体験談」を書きましょう!	5月～7月 [全4回]	5
	③	<いのち>と環境を考える	9月 [全3回]	6
	④	情報学アラカルト講座2011	11月 [全1回]	7
科学・自然に親しむ	⑤	体験!大学の化学実験	8月 [全2回]	8
	⑥	静大キャンパス探訪～生物調査隊とキャンパスの自然を観察しよう～	8月 [全3回]	9
	⑦	森林(もり)のめぐみ～地域環境を救うもの～	10月 [全1回]	10
	⑧	バイオテクノロジー体験～茎頂培養を試みよう～	11月 [全1回]	11
	⑨	家庭果樹を楽しもう!!～果樹のせん定教室～	2012年2月 [全1回]	12
身体を動かす	⑩	安心登山のための読図とナビゲーションスキル(中級編)	5月 [全1回]	13
	⑪	安心登山のための読図とナビゲーションスキル(秋期・基礎完全マスター編)	10月～11月 [全4回]	14
	⑫	ノルディックウォーキング&エクササイズと里山自然体験	11月～2012年3月 [全5回]	15
専門性を高める	⑬	体育授業としての卓球指導法研修会	8月 [全2回]	16
	⑭	小学校外国語活動スキルアップ講座Ⅳ	8月 [全1回]	17
	⑮	食品分析のための高速液体クロマトグラフィー基礎講座	9月 [全3回]	18

終末期医療の「いま」と「これから」 ～ヒューマンケアの視点から～

Present and future state of end-of-life care

趣旨 ■ ここ数年、終末期医療において、どこまで治療をするべきなのかが問題になってきました。また、国家財政が危機的状況となる中で、医療・介護を含めた社会保障の制度設計も今後再検討される予定です。本講座では、こうした現状を踏まえつつも、ヒューマンケアという原点に立ち返り、望ましい終末期ケアのあり方を、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

日程 ■ 2011年5月24日(火)・31日(火)・6月7日(火)・14日(火)・21日(火)・28日(火) [全6回] 18:30～20:30

プログラム ■ 第1回(5/24)「最期をどう支え、どう迎えるのか?」
講師：人文社会科学研究所教授・松田純(生命倫理学)
第2回(5/31)「声のもつ力」
講師：NPO法人ヒューマン・ケア支援機構副理事・上藤美紀代
(ヴォイスセラピー実践研究家)
第3回(6/7)「終末期医療と法」
講師：人文学部法学科准教授・神馬幸一(刑法・医事法)
第4回(6/14)「物語とケア」
講師：人文社会科学研究所教授・南山浩二(社会学)
第5回(6/21)「子どもにとっての<最善>と終末期医療」
講師：人文社会科学研究所准教授・堂園俊彦(哲学)
第6回(6/28)「終末期医療における心理的サポート」
講師：人文社会科学研究所教授・笠井仁(心理学)

定員 ■ 30人

対象 ■ 一般市民

受講料 ■ 1,700円(6回通し)

会場 ■ アイセル21(静岡市葵生涯学習センター)
[静岡市葵区東草深町3-18]
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-221-1758
(往復葉書) 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
静岡市生涯学習推進課 宛
※「静岡大学公開講座希望」と明記の上、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢をご記入ください。

申込期限 ■ 5月9日(月) 午後5時

主催 ■ 静岡大学人文社会科学研究所臨床人間科学専攻

問合せ ■ 静岡市生涯学習推進課 ☎054-221-1207

共催 ■ 静岡市生涯学習推進課、NPO法人ヒューマン・ケア支援機構

後援 ■ 静岡県教育委員会

英語で自分の「体験談」を 書きましょう!

Writing a "Personal Experience" Story ...in English!

趣旨 目的は、各参加者が自分の英語力をアップしながら自分の作品を書き、それをたくさんの方とSHAREし、いろいろな作品を楽しむことです。

日程 2011年5月28日(土)・6月18日(土)・7月9日(土)・30日(土)
[全4回] 18:30~20:30 ※最終回のみ21:00まで

プログラム 第1回(5/28)「いろいろな体験談を読もう!」
第2回(6/18)「自分の話の内容を考えよう!」
第3回(7/9)「書いた話に対するアドバイスをもらおう!」
第4回(7/30)「発表会をやろう!」

講師 人文学部教授 スティーヴ・レッドフォード(アメリカ文学)

定員 12人

対象 英検準2級以上または同等レベル以上の方(高校生以上)

受講料 2,500円(4回通し)

会場 静岡市産学交流センター(B-nest) 7階 小会議室2
[静岡市葵区御幸町3-21]
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
 (FAX) 054-237-3612
 (メール) jinbun@adb.shizuoka.ac.jp
 (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 静岡大学人文学部総務係宛
 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢(学年)、
 受講したい講座名を明記してください。

申込期間 4月25日(月)~5月20日(金)

主催・問合せ 人文学部総務係 054-233-1480

後援 静岡県教育委員会

Green by ICT
による静岡大
学スマートキャン
パス化

<いのち>と環境を考える

Investigation of Life and Environment

趣旨 ■ 環境問題や遺伝子技術など近年、わたしたちを取り巻く社会や自然のあり方があらためて問われています。この講座では、海の環境と生き物の生態、共生社会のデザイン、遺伝子技術の可能性と問題点などを取り上げながら、いのちと環境について考えます。

日程 ■ 2011年9月10日(土)・17日(土)・24日(土) [全3回]
14:00~16:00

講師 ■ 第1回(9/10)「海のしくみと駿河湾深層水」
講師：理学部助教・宗林留美(地球科学)
第2回(9/17)「循環共生社会の原理～自然のしくみと社会のしくみを繋げる知とは～」
講師：農学部准教授・野上啓一郎(人間環境科学)
第3回(9/24)「遺伝子技術のゆくえと<いのち>の現在」
講師：人文学部教授・松田 純(生命倫理学)

定員 ■ 50人

対象 ■ 一般市民

受講料 ■ 1,400円

会場 ■ 沼津市民文化センター [沼津市御幸町15-1]
※会場までの地図は、P30の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-238-4295
(メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学生涯学習教育研究センター宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。

申込期間 ■ 8月5日(月)～9月9日(金)

主催・問合せ ■ 静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817

共催 ■ コープしずおか

後援 ■ 静岡県教育委員会

情報学アラカルト講座2011

a la carte informatics course 2011

趣旨 ■ 静岡大学情報学部では2011年11月12日、13日に開催される「テクノフェスタ in 浜松」に合わせて、公開講座を企画しております。情報学部の研究と教育の特性を活かし、「情報学」に関する旬のテーマを情報学部の教員が独特の切り口で論じる、1回完結型のアラカルト講座です。興味・関心に応じて、3つの講座から1つの講座をお選びいただけます。

日程 ■ 2011年11月12日(土) 10:30~12:00

プログラム ■ ①「文明と文化～大陸から少し離れた島国・日本の特異性～」
講師：情報学部教授・矢野正俊（ヨーロッパ思想）
②「温故知新の経営学～知識と文化の伝承～」
講師：情報学部教授・田中宏和（経営情報学、組織工学）
③「Green by ICTによる静岡大学スマートキャンパス化」
講師：情報学部准教授・峰野博史（モバイルコンピューティング、ネットワークシステム、ユビキタスネットワーク）

定員 ■ 各講座50人

対象 ■ 興味のある方なら誰でも

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学浜松キャンパス [浜松市中区城北3-5-1]
※会場までの地図は、P27の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください（先着順）。
☎(FAX) 053-478-1579
✉(メール) chiiki-wg@ml.inf.shizuoka.ac.jp
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、受講したい講座名を第2希望まで明記してください。
※会場に駐車場はございませんのでご注意ください。

申込期間 ■ 10月3日(月)～10月31日(月)

主催・問合せ ■ 静岡大学情報学部地域連携推進室 ☎053-478-1579

後援 ■ 静岡県教育委員会

体験!大学の化学実験

Chemical Experiment Open to Citizen

趣旨 ■ 一般の市民を対象に、中学や高校では行われていない化学実験を、実際に体験できる場を設けます。地元市民に当大学の研究教育活動に触れることができる機会を設け、特に、中高校生に、科学への興味を喚起することを目的とします。

日程 ■ 2011年8月6日(土)・8月7日(日) [全2回]
10:00~16:00

内容 ■ 水の分析・カルシウム、マグネシウム、鉄分の分析実験

講師 ■ 機器分析センター准教授 近藤 満(錯体化学)

定員 ■ 15人

対象 ■ 原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス 理学部化学科学生実験室(共通教育C棟205北)
[静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-238-4295
(メール) LLC@ipc.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学生涯学習教育研究センター宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、児童・生徒の場合は学年、受講したい講座名を明記してください。

申込期間 ■ 6月1日(水)~8月1日(月)

主催・問合せ ■ 静岡大学生涯学習教育研究センター ☎054-238-4817

後援 ■ 静岡県教育委員会

静大キャンパス探訪

～生物調査隊とキャンパスの自然を観察しよう～

Nature Tour in Shizudai Campus : Let's join Campus Biota Troop

趣旨 ■ 静岡大学のキャンパスには豊かな自然がいたるところにあります。静岡大学では、こうした資源を教育や地域との連携に生かす目的の一環として、2009年度から3ヶ年にわたる生物調査を実施しています。この講座では、生物調査にあたっている本学の教員を講師として、キャンパスの自然とそこに生きる生物を現地で観察しながら、調査の成果を紹介します。なお、雨天時はキャンパスミュージアム内でスライドや標本の観察をおこないながら実施します。

日程 ■ 2011年8月6日(土) 10:00～12:00、8月20日(土) 19:00～21:00、8月27日(土) 10:00～12:00 [全3回]

プログラム ■ 第1回(8/6)「夏に観察できる植物と鳥類」
 講師：教育学部教授・小南陽亮(植物生態学)
 第2回(8/20)「夜の静大キャンパス～動物たちの生態～」
 講師：教育学部技術職員・新妻廣美(系統動物学)
 第3回(8/27)「静大キャンパスの動物」
 講師：農学部学術研究員・加藤英明(保全生態学)

定員 ■ 20人

対象 ■ 一般市民、学生、小中高生 (中学生以下は保護者同伴)

受講料 ■ 無料

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836]
 ※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
 (FAX) 054-238-4312
 (メール) kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp
 (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学研究
 協力・情報チーム共同施設担当宛
 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。

申込期限 ■ 7月29日(金) まで

主催・問合せ ■ 静岡大学学術情報部研究協力・情報チーム共同施設担当
 ☎054-238-4264

後援 ■ 静岡県教育委員会

森林（もり）のめぐみ ～地球環境を救うもの～

Bestowals from Forest

趣旨 2011年は国連の定める「国際森林年」であり、現在・未来の世代のため、森林の保全や持続的可能な経営・開発を強化するため努力すべきだとされています。そこで今回の講座では森林の役割をいま一度認識し、森林のめぐみを種々の観点から考察した内容を解説します。森林の多面的機能や地震と山くずれ、また森林微生物の役割と環境修復、森林の産物である木材を利用した環境に配慮した公共建築物への木材促進利用などの例をわかりやすく紹介します。

日程 2011年10月8日（土）13:10～17:00

プログラム

- ①「森林の多面的機能」（13:10～14:00）
講師：農学部教授・水永博巳（森林生態学）
- ②「地震と山崩れ」（14:10～15:00）
講師：農学部教授・土屋 智（森林防災工学）
- ③「環境にやさしい木造建築」（15:10～16:00）
講師：農学部教授・安村 基（木構造学）
- ④「森林微生物が地球を救う」（16:10～17:00）
講師：農学部教授・西田友昭（森林生物化学）

定員 40人

対象 中学・高校教員および一般市民

受講料 無料

会場 静岡市産学交流センター（B-nest）6階 プレゼンテーションルーム
[静岡市葵区御幸町3-21]
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください（先着順）。
☎(FAX) 054-237-3028
✉(メール) afktaki@ipc.shizuoka.ac.jp
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を明記してください。

申込期間 9月5日（月）～9月30日（金）

主催・問合せ 静岡大学農学部環境森林科学科
☎054-238-4958（農学部総務係）

共催 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

後援 静岡県教育委員会

バイオテクノロジー体験 ～茎頂培養をしてみよう～

Experience of Biotechnology : Let's try Shoot-tip Culture

趣旨 ■ 近年、遺伝子組み換えやクローン牛誕生などのバイオテクノロジー(バイテク)が新しい科学技術として話題となっています。しかし、我々は昔から、酒・味噌・ヨーグルトなどの製造にバイテクを利用してきました。この講座では、園芸の分野で行われている組織培養による苗の繁殖技術を学び・体験することで、この古くて新しいバイテクを身近なものとして実感してもらいます。併せて、農業の世界での新しい技術への取り組みの状況について理解する機会とします。

日程 ■ 2011年11月3日(木) 9:45～12:15

講師 ■ 農学部准教授 河原林和一郎(花卉園芸学)
農学部助教 浅井辰夫(作物栽培学)
農学部助教 八幡昌紀(果樹園芸学)
農学部技術専門職員 増田幸直
農学部技術専門職員 西川浩二
農学部技術専門職員 成瀬博規
農学部技術専門職員 成瀬和子

定員 ■ 16人

対象 ■ 中学生以上

受講料 ■ 800円

会場 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド [藤枝市仮宿63]
※会場までの地図は、P28の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-644-4641

(メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63

静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛

※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレスを記載してください。

申込期限 ■ 10月21日(金) まで

主催・問合せ ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
☎054-641-9500(センター事務室)

後援 ■ 静岡県教育委員会

家庭果樹を楽しもう!!

～果樹のせん定教室～

Pruning classroom of fruit tree

趣旨 ■ 果樹のせん定は難しそうなイメージがあると思いますが、一度基本を習得すればあとはどんな果樹でもせん定ができるようになります。本講座では、果樹のせん定の基本的な知識と技術の習得を目標に行います。

日程 ■ 2012年2月25日(土) 9:00～12:00

講師 ■ 農学部准教授 河原林和一郎(花卉園芸学)
農学部助教 浅井辰夫(作物栽培学)
農学部助教 八幡昌紀(果樹園芸学)
農学部技術専門職員 増田幸直
農学部技術専門職員 西川浩二
農学部技術専門職員 成瀬博規
農学部技術専門職員 成瀬和子

定員 ■ 10人

対象 ■ 高校生以上

受講料 ■ 1,500円

会場 ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
藤枝フィールド[藤枝市仮宿63]
※会場までの地図は、P28の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-644-4641
(メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛
※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレスを記載してください。

申込期限 ■ 2012年2月10日(金) まで

主催・問合せ ■ 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター
☎054-641-9500(センター事務室)

後援 ■ 静岡県教育委員会

安心登山のための読図とナビゲーションスキル (中級編)

How to improve your navigation and map reading skill

趣旨 ■ 山歩きを愛好する方々を対象に、より安全で確実なナビゲーションを行うための技術を伝授します。事前の地図読みや実際に歩くときに道迷いを防ぐための地図読みなど、実践的なスキルを習得します。本講座は基礎的な地図の理解ができている人を対象としています。基礎から確実に学びたい方は秋期の講習をご利用ください。

日程 ■ 2011年5月8日(日) 9:30~16:00

内容 ■ 読図とナビゲーション：座学と実践

講師 ■ 教育学部教授 村越 真(野外活動)
プロアドベンチャーレーサー 宮内佐季子(野外活動)

定員 ■ 20人

対象 ■ 登山・アウトドア活動を行う一般市民(申込時に年齢、性別を記入)

受講料 ■ 4,000円

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

☎ FAX 054-237-6347

✉ メール kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp

〒 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部総務係宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、受講したい講座名を明記してください。

申込期限 ■ 4月20日(水) まで

主催・問合せ ■ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

共催 ■ 特定非営利法人M-nop

後援 ■ 静岡県教育委員会

安心登山のための読図とナビゲーションスキル (秋期・基礎完全マスター編)

How to improve your navigation and map reading skill

趣旨 山歩きを愛好する方々を対象に、より安全で確実なナビゲーションを行うための基礎的な技術を伝授します。第1回講座では地図利用の基礎知識や実践的なスキルを扱います。第2回講座ではコンパスを使った方向の決定と維持の方法を練習します。第3回講座では等高線を読んで地形を活用することを学びます。第4回講座は仕上げとして山道でのルート維持を実践します。

日程 2011年10月3日(月)・17日(月)・31日(月)・11月14日(月)
[全4回] 13:00~16:00

プログラム
第1回(10/3) 「地図利用の基礎知識と実践スキル」
第2回(10/17) 「コンパスを使う」
第3回(10/31) 「等高線を読んで地形を活用する」
第4回(11/14) 「ルートを決めて正しくたどる」

講師 教育学部教授 村越 真(野外活動)：第1回
オリエンテーリング日本代表 松澤俊行(野外活動)：全回

定員 20人

対象 登山・アウトドア活動を行う一般市民(申込時に年齢、性別を記入)

受講料 6,000円(4回通し)

会場 静岡大学静岡キャンパス[静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-237-6347

(メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部総務係宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、受講したい講座名を明記してください。

申込期間 7月1日(金)~9月16日(金)

主催・問合せ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

共催 特定非営利法人M-nop

後援 静岡県教育委員会

ノルディックウォーキング &エクササイズと里山自然体験

Nordic Walking & Exercise and Communing with SATOYAMA

趣旨 本講座では何時でも、何処でも安全に楽しむことのできるノルディックウォーキングおよびノルディックエクササイズを体験しながら、健康・スポーツ科学および生物環境科学の面白さを学び、身体の内外的環境改善から自身の健康を考えることを目的とします。講座は全5回行い、参加者が自宅でもトレーニングを実践し、その効果を体感します。また、ノルディックウォーキングのコースは教育学部自然観察実習地を基点とした静岡大学周辺の里山を主に活用し、里山の自然環境や食の安全について学びます。さらに、里山で取れる山菜などを実際に食す機会も設け、講師と参加者が健康について座談しながら学ぶ機会があります。

日程 2011年11月8日(火) 9:00~12:00、11月15日(火) 9:00~12:00、11月22日(火) 9:00~12:00、2012年3月13日(火) 9:00~16:00、3月27日(火) 9:00~13:00 [全5回]

プログラム 第1回(11/8)「大人の体力テストとノルディックエクササイズ」
第2回(11/15)「NW&EX入門と里山」
第3回(11/22)「NWと里山での秋味の楽しみ方」
第4回(3/13)「ノルディックエクササイズ中級と里山の日ウォーク」
第5回(3/27)「大人の体力テストと春の里山、春味の楽しみ方」

講師 教育学部教授 杉山康司(スポーツ生理学):全回
教育学部准教授 祝原 豊(スポーツ生理学):全回
名誉教授 中野偉夫(健康運動学):2~5回
静岡市非常勤嘱託 重岡廣男(環境再生科学):2~5回

定員 30人

対象 メディカルチェックで運動制限されていない健康な方(申し込み時に年齢、性別、運動暦を記入)

受講料 10,500円(5回通し)

会場 静岡大学静岡キャンパス[静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-237-6347

(メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部総務係宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、性別、運動歴、受講したい講座名を明記してください。

申込期限 10月21日(金)まで ※定員になり次第締め切ります。

主催・問合せ 静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422

後援 静岡県教育委員会

体育授業としての 卓球指導法研修会

Teaching methods of table tennis in physical education

趣旨 卓球には、①各々の体力に合わせてラリーやゲームを楽しみながら自然と体力を高めることができる、②怪我が少ないなど、体育の授業に適した特徴があります。しかし、「学校体育において卓球の授業をどのように取り扱おうと良いか」に関する情報はあまりみられません。本講座では、卓球授業を担当される先生を主な対象として、技術習得やゲームなどにおける指導のポイント、楽しい練習法などを紹介します。

日程 2011年8月6日(土) 13:30~16:30
2011年8月7日(日) 9:00~12:00

プログラム 第1回(8/6)「技術習得を中心とした授業での指導のポイント」
第2回(8/7)「ゲームを中心とした授業での指導のポイント」

講師 教育学部教授 吉田和人(身体運動学・卓球)
NPO法人卓球交流会 山田耕司(卓球)

定員 35人

対象 中学校や高校などにおいて卓球の授業を担当する教員

受講料 1,000円

会場 静岡大学静岡キャンパス [静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-238-1071
(メール) kondo@certd.shizuoka.ac.jp
(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛
※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。

申込期限 7月22日(金)まで

主催・問合せ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター
☎054-238-1071

共催 NPO法人卓球交流会

後援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会

小学校外国語活動 スキルアップ講座Ⅳ

A Skills Workshop for Foreign Language Activities at Elementary Schools Ⅳ

趣旨 ■ 2011年度から、小学校高学年で外国語活動が領域として必修となります。「英語ノート1・2」の効果的な活用法、発展的な活動例、教室で使う英語表現、クラスルームマネジメントスキルなどについて考え、学び、演習を行います。また、小学校外国語活動を受けての小中連携についても考えます。英語「英語ノート1・2」を持参して下さい。

日程 ■ 2011年8月19日(金) 10:00~16:00

テーマ ■ いよいよ必修化、小学校外国語活動

講師 ■ 教育学部准教授 矢野 淳(英語教育学)

定員 ■ 25人

対象 ■ 静岡県内の小・中・特別支援学校教員

受講料 ■ 500円

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス 教育学部L棟1階実習室
[静岡市駿河区大谷836]

※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

(FAX) 054-238-1071

(メール) kondo@certd.shizuoka.ac.jp

(葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部附属教育実践総合センター宛

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。

申込期限 ■ 8月12日(金) まで

主催・問合せ ■ 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター

☎054-238-1071

共催 ■ 静岡市教育委員会

後援 ■ 静岡県教育委員会

食品分析のための高速液体 クロマトグラフィー基礎講座

Introduction of HPLC analysis

趣旨 ■ 化学品・食品製造の工程管理や食・水・環境などの諸問題に対処しうる分析技術の中で、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)を用いた分析技術は大変有効です。しかし、未経験者がHPLCの基本技術を習得できる機会はほとんどありません。そこで地域産業への貢献を目的として、未経験者を対象としたHPLC分析技術の講習会を農学部で実施します。本講座では少人数(2~3人/装置)を対象とし、受講者はHPLC装置を実際に操作して分析技術の基礎を習得します。

日程 ■ 2011年9月14日(水)・15日(木)・16日(金) [全3回]
13:00~18:00

講師 ■ 農学部准教授 徳山真治(応用生物化学)

定員 ■ 10人から15人

対象 ■ 高校で化学IまたはIIを履修したものの。ただし、応募者多数の場合は選考があります。

受講料 ■ 15,000円(3回通し)

会場 ■ 静岡大学静岡キャンパス 農学部B棟B301・B325教室
[静岡市駿河区大谷836]
※会場までの地図は、P26の交通案内をご覧ください。

申込先 ■ 以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。
(FAX) 054-237-3028
(メール) acstoku@agr.shizuoka.ac.jp
※氏名(ふりがな)、住所、電話番号、受講したい講座名を記載してください。

申込期間 ■ 8月8日(月)~9月2日(金)

主催・問合せ ■ 静岡大学農学部技術支援室
☎054-238-4958(農学部総務係)

後援 ■ 静岡県教育委員会

その他の 大学開放事業

静岡大学では、公開講座以外にも、それぞれの学部などで市民向けのさまざまな催しをおこなっています。

ここでは、理学部のサイエンスカフェと、工学部の浜松RAIN房、そして生涯学習教育研究センターの読売新聞連続市民講座、市民開放授業の取り組みを紹介します。

それ以外の活動については、地域連携協働センターのWebサイトで随時紹介していますので、詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.shizuoka.ac.jp/chiiki/>

サイエンスカフェ in 静岡

サイエンスカフェ in 静岡は、静岡大学で最先端の研究を展開している研究者を講師に迎え、サイエンスの話を楽しみながらコーヒーを楽しむカフェとして、2006年12月にオープンしました。

くつろいだ雰囲気の中で、最先端の科学の話題に耳を傾けていただければと思います。コーヒーとお茶、お菓子を用意してお待ちしております。

■第51話「節足動物：繁栄への助走路を走り抜けた動物たち」

日時：2011年4月21日(木) 18:00~19:30

講師：鈴木雄太郎(理学部地球科学科)

概要：今現在の地球上において、多種多様な姿かたちをもって繁栄している昆虫、エビ、カニなどの節足動物。5億年も前の創成期の動物群についての“体のつくり”を見てゆくことで、現在の繁栄の原動力を見出ししていきます。

■第52話「SPring-8とそこで行われる利用実験」

日時：2011年5月19日(木) 18:00~19:30

講師：岡 俊彦(理学部物理学科)

概要：SPring-8はX線を利用するための施設ですが、周長が1.4kmにもおよぶ円形の放射光施設としては世界最大のものです。この大きな施設とそこから発生するX線、そしてそこで行われている原子・分子レベルの研究について生物物理の分野を中心にをご紹介します。

■第53話「金属触媒で化学物質を創る」

日時：2011年6月30日(木) 18:00~19:30

講師：塚田直史(理学部化学科)

概要：現代の我々の生活を支えている多様な有機化学物質は、簡単な分子をたくさん結合することにより作られます。金属触媒は、その結合手法に大きな進歩をもたらしました。クロスカップリング反応に代表される金属触媒反応について紹介します。

申込不要・参加無料

時間：18:00~19:30

会場：ペガサート6階 静岡市産学交流センター(B-nest)
プレゼンテーションルーム

※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

主催：静岡大学理学部

■お問い合わせ

サイエンスカフェ4代目店主 坂本健吉

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部内

E-mail : sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp

<http://www.shizuoka.ac.jp/rigaku/sciencecafe/>

浜松RAIN房

ものづくり理科地域支援ネットワーク

■浜松RAIN房とは

地域ぐるみで「ものづくり・理科教育」を支援していくネットワークです。

静岡大学工学部を中心に、市、浜松商工会議所、地元企業、市民グループなどとの連携を広げ、このネットワークで地域のイベントや講座などへの支援を行っていきます。

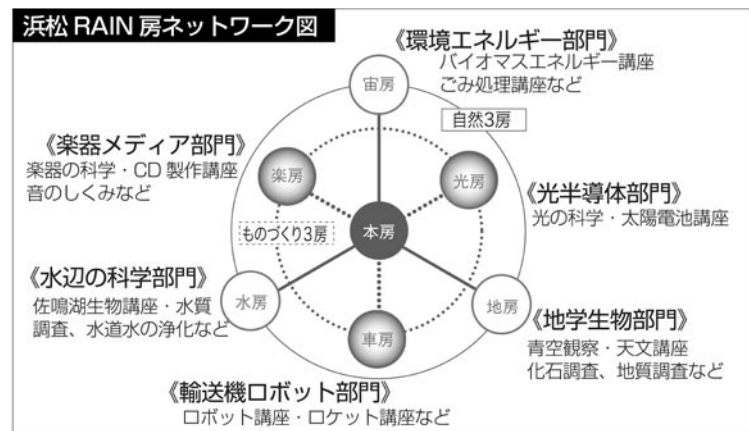
■浜松RAIN房のネットワーク

ものづくり3房（車房・楽房・光房）、自然3房（水房・地房・宙房）と本房の7つの房で構成されます（下図参照）。名称は、虹色の7色にかけて『レインボウ』としています（房＝クラスター：ネットワークのグループ）。RAIN房の『RAIN』は、RAIN=RApport between Industry & Nature（産業と自然との協調関係）をあらわしています。

■どんなことをするの？

浜松RAIN房では、ネットワークに連携する団体の情報を集約・発信するとともに、各地域でのイベント（ものづくり講座や理科実験）に教材の提供や講師の派遣などを行い、理科教育を身近に感じていただく活動を展開していきます。浜松RAIN房のホームページには、この地域で行われるものづくり・理科教室等の情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

浜松RAIN房ホームページ：<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp>



■お問い合わせ

浜松RAIN房

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部内

☎053-478-1759/FAX053-478-1757

E-mail : trainbow@ipc.shizuoka.ac.jp

<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/>

静岡大学・読売新聞連続市民講座 「地域から広がる可能性」

回	実施日	タイトル	講師
1	5/14 (土)	多文化の集う地域から対話を	宇都宮裕章(教育学部准教授)
		多文化共生社会は前提です。これからは、多文化「創生」社会を目指していきましょう。異なった価値観をつなぐ対話の効用を考えます。	
2	6/4 (土)	変容する家族と地域	冬木春子(教育学部准教授)
		子どもが育つ環境としての家族は大きく変化しつつあります。その実情をとらえ直し、地域を含めたサポートシステムのあり方を考えます。	
3	7/2 (土)	地域福祉と男女共同参画社会	笹原 恵(情報学部教授)
		高齢化、過疎化などの地域の現状をふまえ、いま、必要とされている地域福祉について、「男女共同参画」をキーワードに考えます。	
4	8/6 (土)	ICT(情報通信技術)の進展と地域社会～ 絆の再生と創造～	伊東暁人(人文学部教授)
		「無縁社会」ともいわれる少子高齢化時代をむかえ、地域社会における「絆」の再生と創造にICTが果たす役割を考えたいと思います。	
5	9/3 (土)	若者の居場所	荻野達史(人文学部准教授)
		若者にとって居場所を得ることは必ずしも容易なことではありません。その背景や居場所のタイプも踏まえつつ、求められる居場所づくりについて検討します。	
6	10/1 (土)	静岡の過疎山村・限界集落における地域づくり実践報告～縁側お茶カフェ・買い物ツアー・福祉朝市・お茶ツアー等々～	小櫻義明(名誉教授)
		集落が消滅の危機に瀕している静岡市の山間地の限界集落に住みつき、集落の人たちとともに地域の活性化に取り組んできた活動の報告を、地域政策の研究者としての立場からおこないます。	
7	11/5 (土)	地産地消と我が国農業	柴垣裕司(農学部准教授)
		近年、地域で生産した農産物をその地域で消費する地産地消が活況を見せしており、地産地消が農業に及ぼす影響についてお話します。	
8	12/3 (土)	地域から考える防災とジェンダー	池田恵子(教育学部准教授)
		災害の被災経験は男女で異なります。地域防災にジェンダーの視点を取り入れ被害を軽減した他国の事例を紹介し、私達にできる事を考えます。	

時 間：14:00～16:00

会 場：静岡市産学交流センター(B-nest) 6階 プレゼンテーションルーム
※会場までの地図は、P29の交通案内をご覧ください。

参加費：無料

主 催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

■お申し込み

以下のいずれかによりお申し込みください(先着順)。

☎(FAX) 054-252-0310

✉(メール) shizuoka@yomiuri.com

📄(葉書) 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F
読売新聞静岡支局 静大市民講座係

※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、参加される回を明記してください。

市民開放授業

■市民開放授業とは？

静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。従来からある聴講生や科目等履修生制度とは違い、単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。受講料は、半期14回で9,200円です。

■どんな科目が開放されているの？

2010年度は、下の表のとおり、前後期あわせて493科目が公開され、受講者数は200人を超えました。人文学部・理学部・教育学部・農学部（以上静岡キャンパス）、工学部・情報学部（以上浜松キャンパス）という本学の学部構成に応じて、さまざまな分野の科目が公開されています。

開講科目数			受講者数		
前期	後期	合計	前期	後期	合計
243	250	493	118	99	217

■どんなメリットがあるの？

正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。また、構内の生協（食堂・書店など）を利用することができますし、附属図書館も自由に利用することができます。

■どうすれば受講できるの？

毎年、3月下旬（前期分）、9月下旬（後期分）に静岡と浜松で事前説明会を行っています。詳しくはお問い合わせください。

それぞれの授業の初回は、試聴期間として、自由に聴講することができますようになっていますので、難易度や雰囲気を知ることができます。

■お問い合わせ

市民開放授業全般について

生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL:054-238-4817 FAX:054-238-4295

e-mail : LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

授業関係について

教務チーム教育企画担当

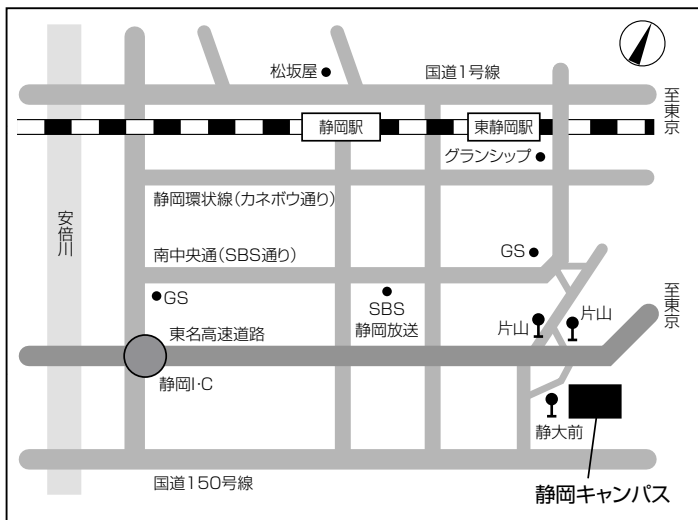
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL:054-238-4252 FAX:054-238-5347

各会場への アクセス

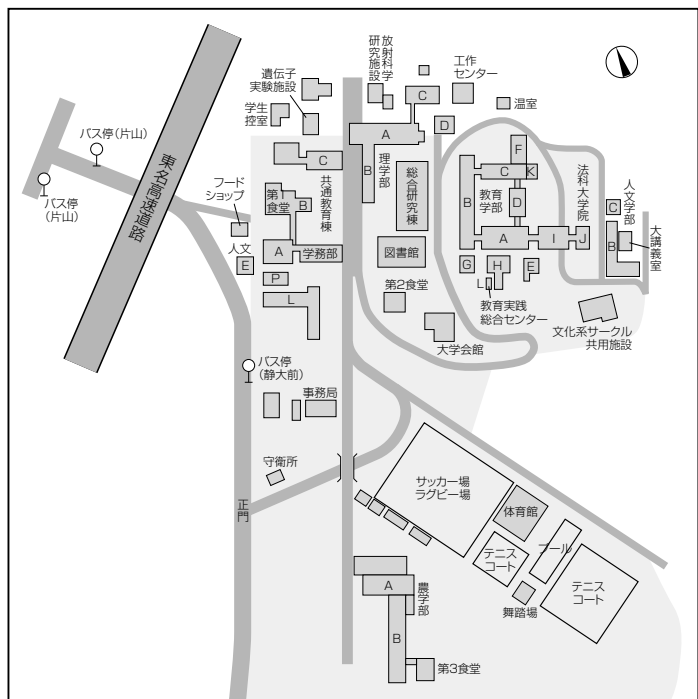
■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836



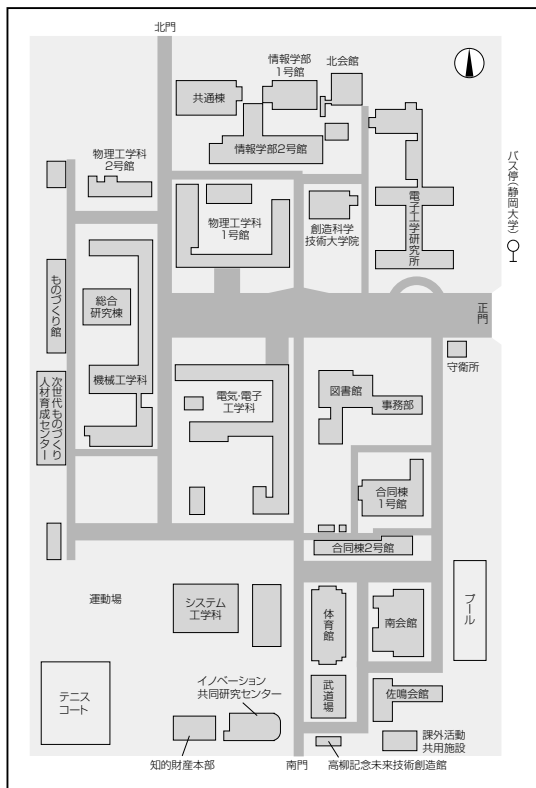
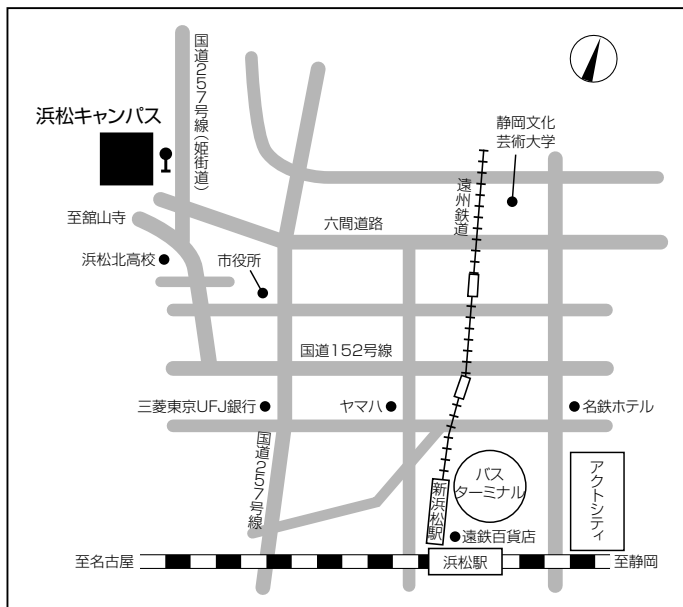
交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス6番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」行きに乗車し、「静大前」または「片山」バス停下車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静大前」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」バス停は2ヶ所ありますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1

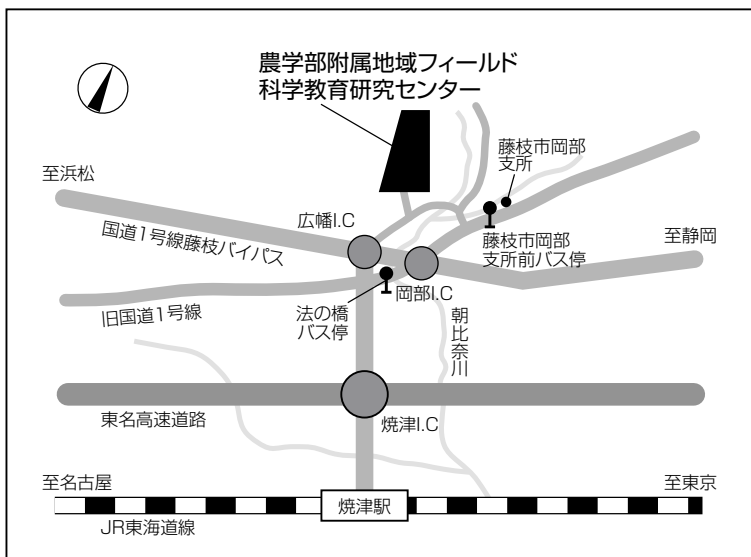


交通案内

1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し（全路線）、「静岡大学」バス停車（所要時間約20分、1時間に10本程度運行）。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

■静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

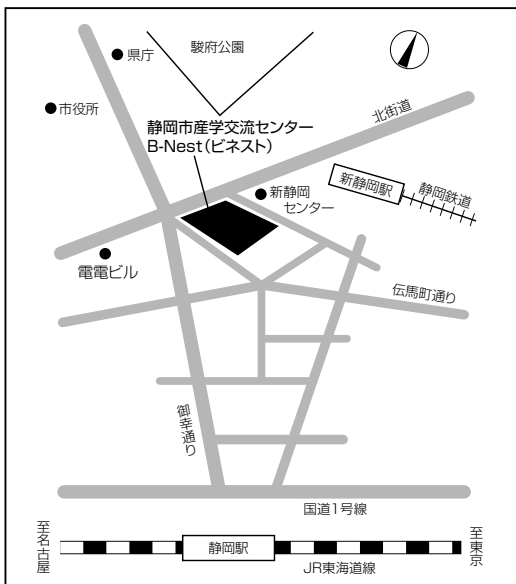
所在地：藤枝市仮宿63



交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス7番乗り場から、「藤枝駅前行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス下車徒歩20分（バス所要時間約40分）。
2. JR藤枝駅しずてつジャストラインバス2番乗り場から「新静岡行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス下車徒歩20分（バス所要時間約20分）。
3. JR焼津駅からタクシーで約15分。
4. 東名高速道路焼津インターより車で約10分、国道1号線藤枝バイパス広幡インターより車で約5分。

■静岡市産学交流センター (B-nest)

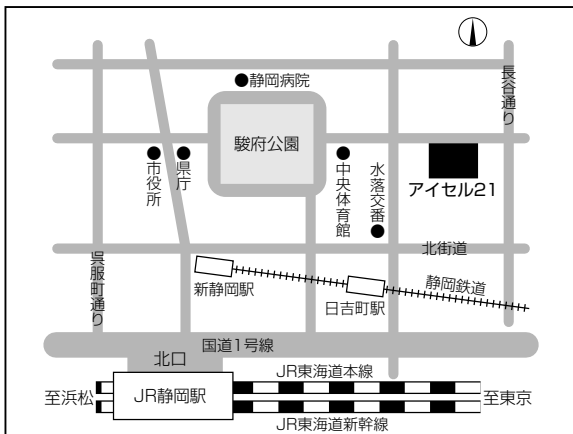


所在地：
静岡市葵区御幸町3-21

交通案内

JR静岡駅北口から徒歩5分 (ペガサート6~7階)

■アイセル21 (静岡市葵生涯学習センター)



所在地：静岡市葵
区東草深町3-18

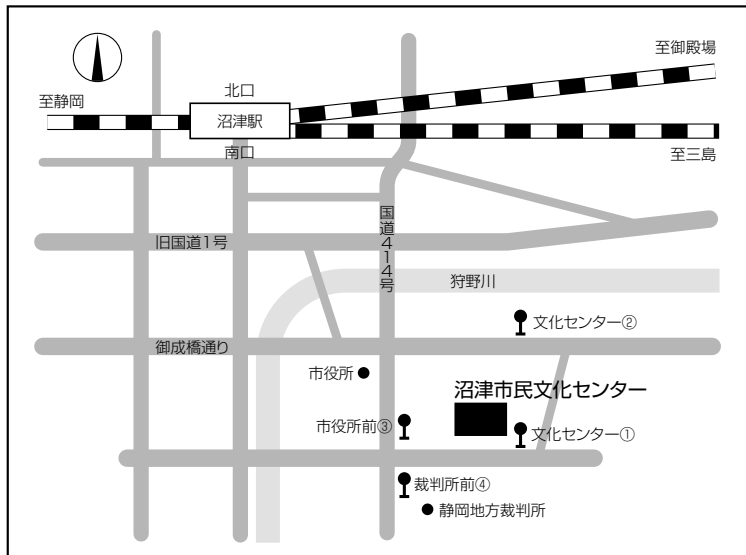
交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「県立総合病院行き」(県立病院高松線)に乗りし、「アイセル21」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン5番乗り場から、「駿府浪漫バス」に乗りし、「中央公民館前」バス停下車。
3. JR静岡駅北口より徒歩30分。
4. 静鉄新静岡駅より徒歩20分。
5. 静鉄日吉町駅より徒歩15分。

※駐車場は70台ありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

■ 沼津市民文化センター

所在地：沼津市御幸町15-1



交通案内

1. JR沼津駅南口より徒歩20分。
2. JR沼津駅南口からバス（バス所要時間約7分）。

のりば	会社名	最寄りの停留所
④番	沼津登山東海バス	文化センター①
⑥番	沼津登山東海バス	文化センター②
⑦番	伊豆箱根バス	市役所前③・裁判所前④

地域に開放して いる学内施設

静岡大学では、地域に開かれた大学を目指し、キャンパス内の施設を地域の皆様にご利用いただけるよう、施設開放を進めています。

次に挙げた施設は、開館時間中であればどなたでも自由にご利用いただけます。もちろん無料です。

大学が地域の中でより身近な存在となるための拠点として、より使いやすい施設になるよう今後もよりいっそう工夫を重ねていきます。ぜひお気軽にお越しください

■生涯学習教育研究センター

静岡キャンパス

静岡大学生涯学習教育研究センターは、地域への大学開放と生涯学習の普及をより一層推進させるために設置された学内共同教育研究施設です。

生涯学習に関する教育や研究を行い、大学開放事業や地域連携事業などに取り組んでいます。

センター内には、生涯学習に関する書籍・雑誌・報告書などの閲覧ができる資料室があります。また、生涯学習・大学開放に関する相談事業を行っています。講師派遣や企画のご相談がありましたら、気軽にご相談下さい。



☎ 問い合わせ まずは電話・FAX・メールにてお問い合わせください。

電話：054-238-4817 FAX：054-238-4295

メール：LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

HP <http://www.LC.shizuoka.ac.jp/>

■附属図書館（静岡本館・浜松分館）

静岡キャンパス 浜松キャンパス

図書館資料の利用を希望される方は、簡単な手続きで入館することができます。利用者登録をおこなえば、図書の出借が受けられる図書館利用票が発行されます。調査に、研究に、生涯学習に、静岡大学附属図書館をお役立てください。



静岡本館



浜松分館

🕒 開館時間 月～金：9:00～22:00(休業期は9:00～17:00)
土・日・祝日：9:00～19:00

📅 休館日 年末年始(12/28～1/4)、大学入学試験日、その他臨時休館日

☎ 問い合わせ 静岡本館：☎054-238-4479
lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp
浜松分館：☎053-478-1391
ohlib@ipc.shizuoka.ac.jp

HP <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>

■キャンパスミュージアム

静岡キャンパス

静岡大学の教育・研究の成果を公開している博物館です。学内のさまざまな資料を整理・保存し、再活用することを目的として、1996年に設立されました。開館時間中はどなたでも見学できます。



- 開館時間 12:00～15:00
- 開館日 通常授業期間中の毎週火・木曜日
- 問い合わせ ☎054-238-4264 / kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp
- HP http://www.shizuoka.ac.jp/chiiki/c_museum/

■高柳記念未来技術創造館

浜松キャンパス

テレビジョンの開発に世界で初めて成功した高柳健次郎（静岡大学名誉博士）を顕彰した博物館です。テレビジョンの歴史に関する展示を中心に、最新技術や未来技術、本学の教育研究の成果なども展示・紹介しています。



- 開館時間 10:00～16:00
- 休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始、その他（大学入学試験日、展示入替日など）
- 問い合わせ ☎053-478-1402
tmh@ipc.shizuoka.ac.jp
- HP <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/>

静岡大学への各種相談については以下の窓口へどうぞ。

総合窓口

■国立大学法人静岡大学

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836
☎054-237-1111 (代表：平日9:00~17:15)
<http://www.shizuoka.ac.jp/>

個別相談窓口

▶▶地域連携全般に関すること

■地域連携協働センター

静岡キャンパス

☎054-238-4902
e-mail: ochiki@ipc.shizuoka.ac.jp
<http://www.shizuoka.ac.jp/chiki/>

▶▶受託研究・共同研究・技術相談に関すること

■イノベーション共同研究センター

浜松キャンパス

☎053-478-1718
e-mail: sangakucd@cjr.shizuoka.ac.jp
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

▶▶防災に関すること

■防災総合センター

静岡キャンパス

☎054-238-4502
e-mail: sbosai@sakuya.ed.shizuoka.ac.jp
<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/sbosai/>

▶▶人文・社会科学系分野における共同研究に関すること

■地域社会文化研究ネットワークセンター

静岡キャンパス

☎054-238-4564
e-mail: rnc@hss.shizuoka.ac.jp
<http://www.hss.shizuoka.ac.jp/rnc/>

発行

静岡大学生涯学習教育研究センター
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
☎054-238-4817 FAX054-238-4295
E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp
URL: <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>